

未来の苫小牧の
まちづくりに関する
市民
アンケート
調査

結果報告書

2020年3月5日

一般社団法人
苫小牧青年会議所



Junior Chamber International Japan
一般社団法人 苫小牧青年会議所

目次

- ▶ はじめに
- ▶ I .調査の概要
- ▶ II .アンケート実施の目的
- ▶ III .アンケート
- ▶ IV .アンケート調査の結果
- ▶ V .集計結果の分析
- ▶ おわりに

はじめに

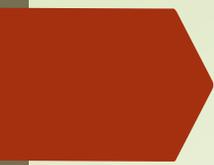
一般社団法人苫小牧青年会議所は、これまで「明るい豊かな社会の実現」を目指し、ふるさとのために様々な運動を繰り広げてまいりました。

地域の子どもたちのために、大人たちが主体的にまちの問題に取り組めるようになれば、明るい苫小牧市へつながるという考えから、地域の大人と子どもを対象とした事業や、苫小牧市近郊地域のまちの問題に対してテーマを持って取り組む社会開発事業を行っております。

今回、苫小牧の明るい未来を目指すうえで、市民一人ひとりがまちのことに対して当事者意識を持ち、主体的に行動できるようになるために、市民がまちづくりの運動に対してどのように考え、どのような意識を持っているのかを明確にする必要があると考えました。

そこで、苫小牧市民を対象とした400人の市民アンケートを行い、皆様の率直なご意見をいただきました。それらを今回まとめて結果報告とさせていただきます。

一般社団法人苫小牧青年会議所



I . 調査の概要

I. 調査の概要

<調査対象>

18歳以上の苫小牧市内に在住する市民

<調査方法>

- ① 青年会議所メンバーによる配布・回収
- ② 街頭アンケートによる配布・回収
- ③ アンケート設置に協力頂いた場所での記入・回収
- ④ SNSを通じてWEBアンケートの回収
- ⑤ ポスター設置先でのQRコードからのWEBアンケートの回収
- ⑥ 新聞を通してのQRコードからのWEBアンケートの回収

<実施時期>

2020年1月下旬～2月14日まで

・街頭アンケート

- ① 日時：2020年2月1日、2日

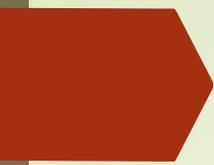
場所：スケートまつり会場 JCブース内にて実施

- ② 日時：2020年2月3日～14日

苫小牧市内の各コミュニティセンター

<回収状況>

回収数 400枚



Ⅱ. アンケート実施の目的

Ⅱ. アンケート実施の目的

苫小牧市の将来像の骨格を形成するのは市民一人ひとりのイメージや具体案によるものと考えます。私たち苫小牧青年会議所では、まちの声を純粹に拾い集め自分達に何ができるのか、市民皆様の意向を把握するため、今回400人対象のアンケートを実施しました。その中で、今後このまちにとって何が必要か、そしてどんな考えや行動が必要なのかを単なる集計数だけでなく、地域、年代、性別に分け、その考えを把握していきます。そして、最後にこのまちを共に元気にしていくためにも、市民一人一人と一緒に考えていくことが一番大事な事だといえます。

アンケートの設置先

日時：2020年1月末日～2月14日

場所：苫小牧住吉コミュニティセンター、豊川コミュニティセンター、のぞみコミュニティセンター、沼ノ端コミュニティセンター、勇払公民館、ココトマ

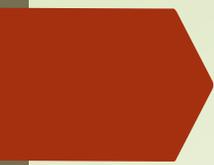


ポスターの設置先

日時：2020年1月末日～2月14日

場所：苫小牧市役所、苫小牧市民活動センター





Ⅲ. アンケート用紙

より良い苦小牧に向けて、 皆さまのご意見をお聞かせください！！

■本年度苦小牧青年会議所では、市民の方たちが自分が住んでいる地域の子どもたちのために、将来どのような苦小牧市になってほしいか、地域に対してどのような考えをお持ちかをお聞きしたいと考えております。皆様から回答をいただいた意見につきましては、今後のより良いまちづくりへの参考と、苦小牧市や関係機関などへ広く周知する予定です。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

■下記の設問について、それぞれご回答ください。

1. あなたの性別と年齢、お住まいの地域を教えてください。

①男 ②女 ③他 () 歳
() 町



2-1. あなたは暮らしていくうえで、住んでいる近隣の地域に、困っていることや身近な問題がありますか？(どんな小さい問題や、困っていることでも構いません。)

①ある ⇒2-2へ ②ない ⇒3-1へ



2-2 .あると答えた方は困っていることや問題の内容をお聞かせください。

内容()

2-3. 困っていることや問題に対して、その問題に積極的に取り組んでいますか？

①はい ⇒2-4へ ②いいえ ⇒2-5へ

2-4 はいと答えた方はどのように取り組んでいるのかをお聞かせください。

内容()

2-5. いいえ と答えた方は取り組めない理由をお聞かせください。

①取り組み方が分からない ②自分が取り組んでも変わらない
③行政・市政が行うものだから ④他の人が行うものだから
⑤その他()

3-1. あなたが今考えている、地域の子どもたちのために、より良い苦小牧市となるためのご意見、ご提案があれば教えてください。



内容()

裏面もありますので、ご協力お願いします↓

↓ 表からの続きです

4. 地域の子どもたちのために、「10年後から20年後の苦小牧市」はどのようなまちであってほしいですか？優先順位を教えてください。

- ①雇用が安定した町
- ②農業や食が魅力的な町
- ③福祉の充実した町
- ④教育・スポーツ等の水準が高い町
- ⑤男女平等で女性が活躍できる町
- ⑥安全でおいしい水が提供される町
- ⑦地域資源を活用したエネルギーで暮らせる町
- ⑧活力ある産業の町
- ⑨多くの人を訪れる観光・交流の町
- ⑩障がい者や性的少数者にも優しくみんなが生きやすい町
- ⑪インフラがしっかりと整備され、暮らしやすい町
- ⑫モノを大切にし、環境負荷が少ない町
- ⑬温室効果ガス削減など、地球に優しい町
- ⑭水産資源が豊かな町
- ⑮自然環境に恵まれた町
- ⑯誰もが安心・安全に暮らせる町
- ⑰地域コミュニティ活動が活発な町



1 番 目 :

2 番 目 :

3 番 目 :

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



※自由記入

本年度苦小牧青年会議所では、地域の子どもたちのために、より良い苦小牧市になるためのイベントを、市民の皆様と一緒にやりたいと考えております。

「地域の子どもたちのために一緒にイベントを考えたい！」「地域の子どもたちのために、少しでも参加しても良いかな」と思われる方は、下方に名前とお電話番号をご記載ください。子どもたちに向けて企画するイベントなどのご案内をいたします。ぜひ一緒に子どもがワクワクするイベントを立ち上げましょう！



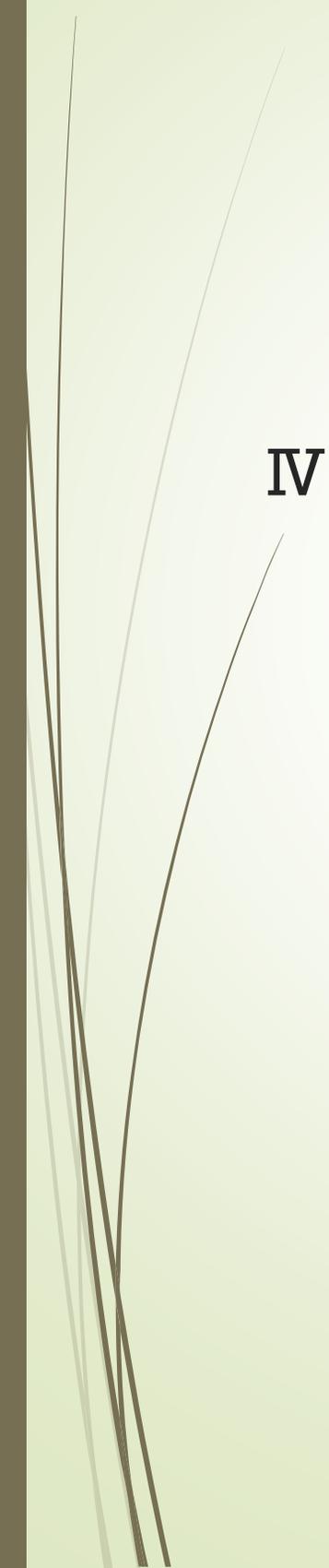
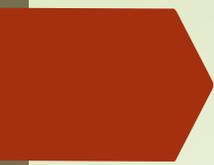
お名前

電話番号

ご協力ありがとうございました

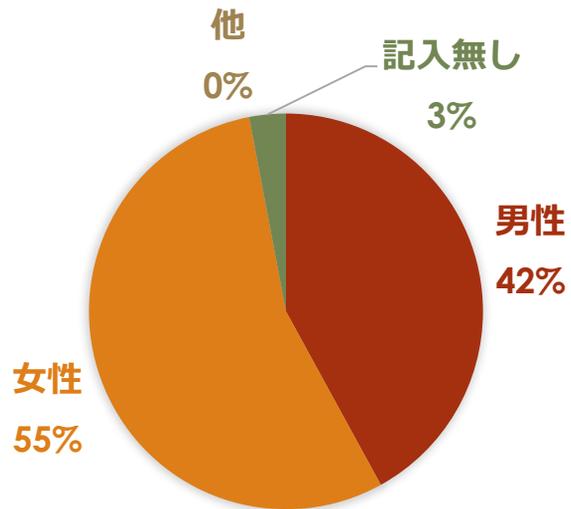
一般社団法人 苦小牧青年会議所



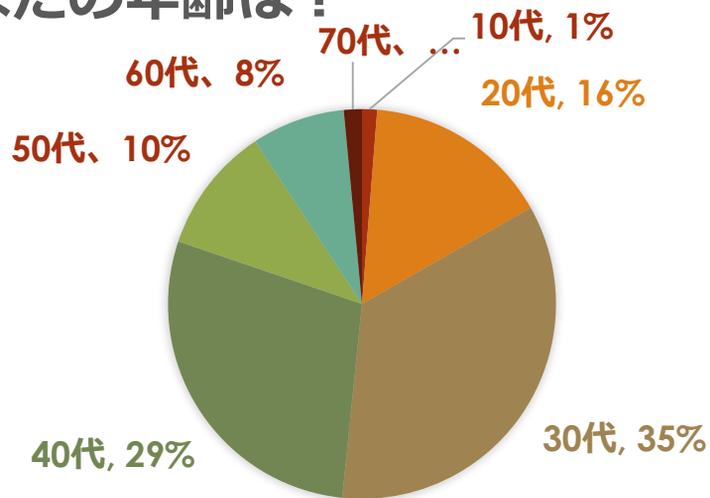


IV. アンケート調査の結果

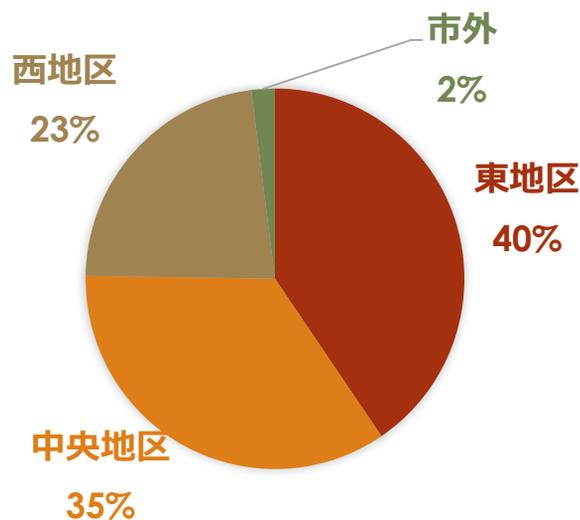
問1.あなたの性別は？



問2.あなたの年齢は？

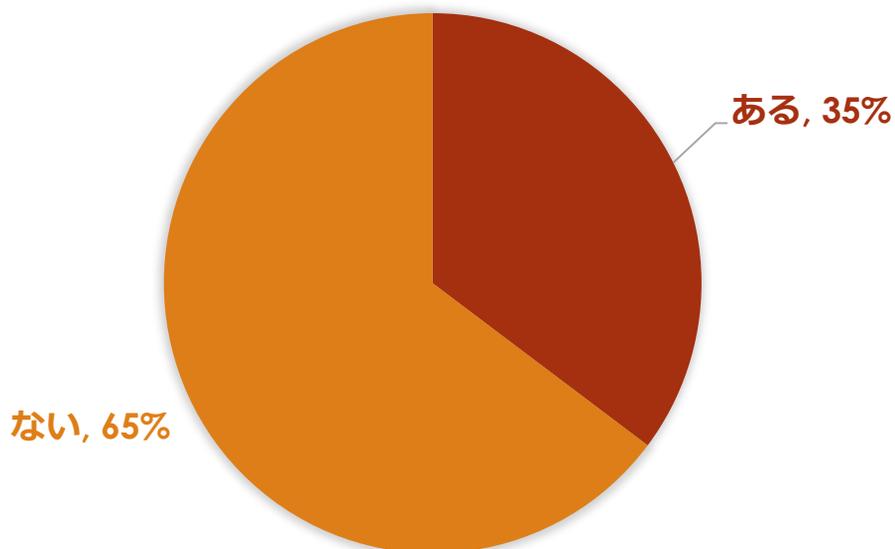


問3.あなたの住んでいる地域は？

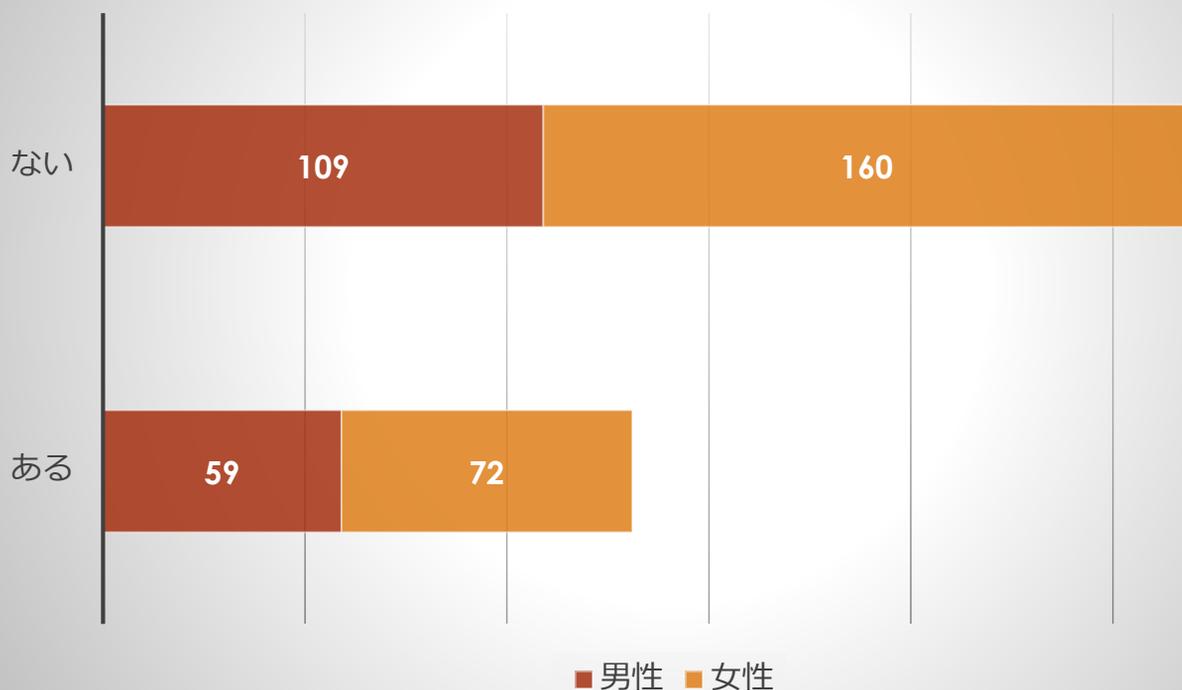


問4.あなたは暮らしていくうえで、住んでいる近隣の地域に、困っていることや身近な問題がありますか？

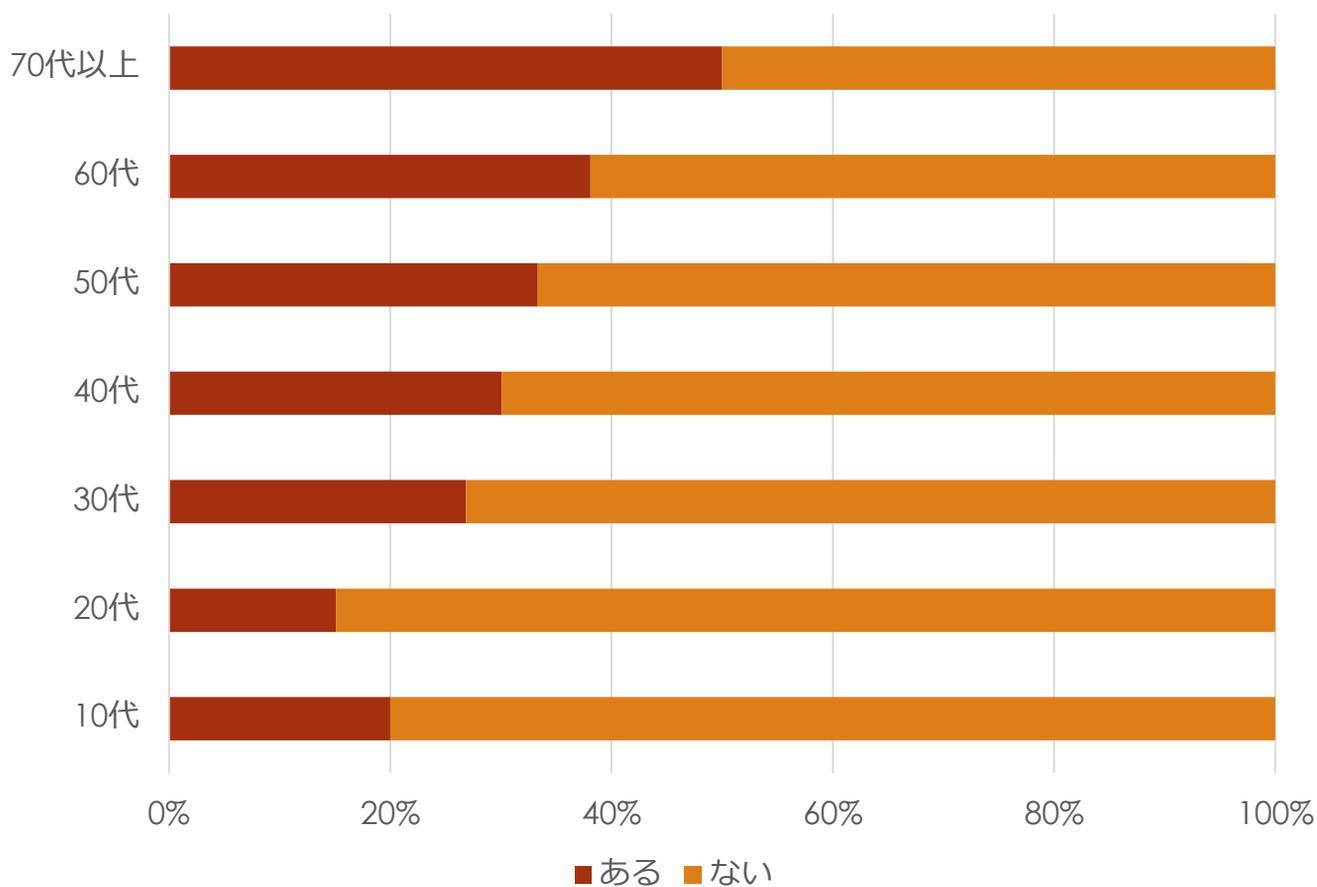
(全体回答)



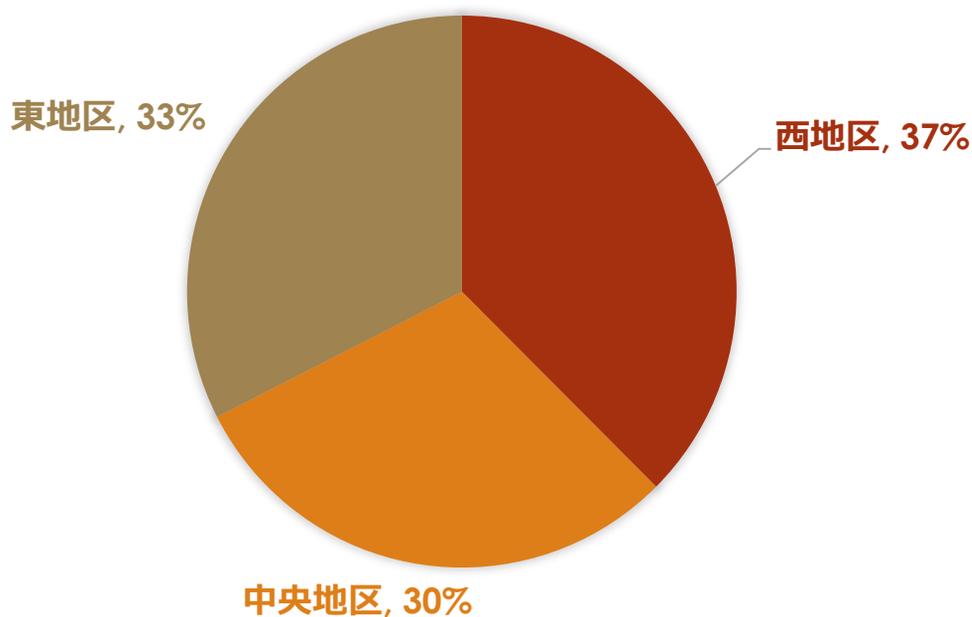
性別回答



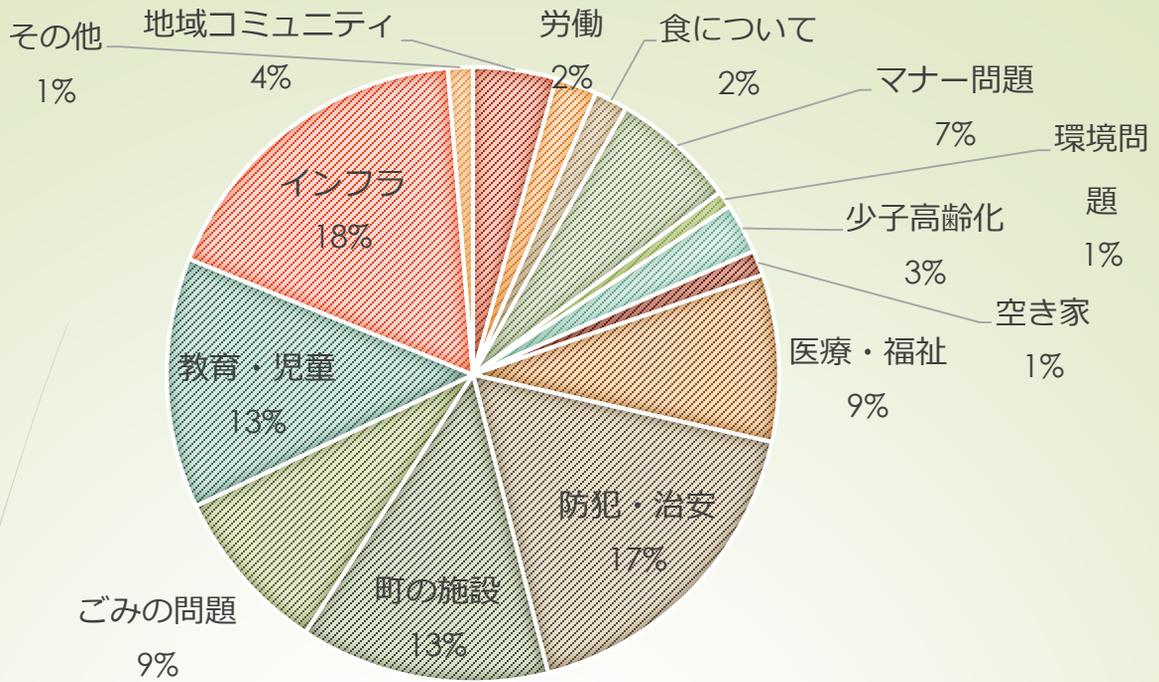
年齢回答



あると答えた方の 地域回答



問5.あると答えた方は困っていることや問題の内容をお聞かせください。



(地域コミュニティ関連)

町内会の班長のなり手が無く、廃止か、広報を配らなくてもいいようにしたい。

町内会の活動に協力しない、またはできない家庭が増えている。

若い人が多く、地域に無関心

町内会、民生委員等の活動をする若い世代が少ない。

他の地域の町内会や地元の名士の人が干渉しすぎ。

(労働関連)

パート先が少ない

若い方の給料がもっと高くなり、福祉の人の給料も高くなってほしい。

介護、障害支援イベント増やす

(食について)

食の安全。安心して買い物したり食べるお店がほしい。

食の安全を保っていけるか。種子法がなくなり、農薬の規制も緩められている。

(マナー関連)

近所の大型犬の鳴き声がうるさい

少しの物音で上の階の住人から床をたたく音がする

ゴミだしマナー、夜の騒音問題など

近所で野生の鳩に餌をあげて、集まってくる。

(環境問題)

環境破壊、貧富の格差拡大。

(少子高齢化関連)

高齢化の中で認知症について
少子化、今後の財政

地域が高齢化し、空き家も増えて廃虚になっているのが目につく。防犯上、
災害対策上も好ましくない。

高齢化で町に活力が無い
子どもが少ない

(空き家関連)

隣りの家の主が施設入所中で息子は遠方におり実質空き家。隣家の雑草が
我が家の敷地にまで及んでいて迷惑。

空き家が目立つ。

(医療・福祉関連)

医療費が高い。前の街は子供の医療は無料だった。

街に人が居ない。

介護、障害支援イベント増やす。

(防犯・治安関連)

街路灯や防犯灯が他の町内会と比べて極めて少なく、宅地造成のスピード
とかみ合っていない。

街路灯、防犯灯が少なく、暗くて危険。

夜道が暗い。

治安が悪い。

住宅地内に電灯が少なく暗くて物騒。暗くなってからの下校途中や車場荒
らし、灯油盗難、高齢者の転倒など心配です。

治安が悪くなってきている。

不審者情報が多く、子どもを公園で自由に遊ばせることに不安を感じる
不審者に声をかけられたり、怒鳴られたことがあった。

(町の施設関連)

室内の子どもの遊ぶところがあまりない。駅の周りはパチンコ店ばかり。

デパートがない

遊ぶところが少ない

街中の活性化

店舗が東側に多く不便

24時間開いてる店が少ない

近所の公園が荒れていて、遊んでいる子が少ない。

商店が減っている

世帯数の割合に対し、買い物の場所や飲食店が少ないと思う

小学生がお使いで安心して買い物体験する場所がない(経験不足になる)

問5.あると答えた方は困っていることや問題の内容をお聞かせください。

(ごみ問題関連)

ごみステーションに決められた曜日以外に勝手にごみを捨てる人がいる。
ごみの折り畳みの設置ごみ箱が使いづらい。燃えないゴミの日が少ない。
ごみステーションのカラス
ポイ捨て、ゴミ出しルールの誤り
コンビニが近くに無いゴミの空き缶を回収する人がいる
ゴミの指定回収地域になっているがゴミ箱が盗まれたゴミ箱小さい

(教育・児童関連)

幼稚園 待機児童

子供の通学路に出勤時間帯の車が通行していて危険に感じる事がある。

重すぎる育児負担、生活困窮、虐待

子どもが多く学童や保育の待機が発生している。

子供の通学路に出勤時間帯の車が通行していて危険に感じる事がある。

子供の医療費が高い。

子供の人間関係

近所の子供達が、あまり外で遊んで居ないスマホをしてる。

子供達の心の居場所が少ない

小さい子供が遊べる場所が少ない

地域間の教育格差

近所の子供同士ですら、なんとなく集まって、毎日気軽に遊べる環境や雰
囲気を作り難いのが親から見ると歯痒い。

図書館に中高生が読む本がない

(インフラ関連)

歩道の縁石、舗装がでこぼこで歩きにくい

交通の便が悪い。

バスの本数が少ない

除雪が遅い

バス停がバイパスまででないとな

道路のマンホール周りがへこんでいる。

新開町のゆたか公園の前に信号が増えない

道路の渋滞

縁石が高いので、車の出し入れに注意しなければならない

最寄りのバス停に札幌行き高速バスが止まらなくなった。

中央分離帯の切れ目

交通量が年々多く、特に大型車による通学路でのスピード違反が目立つ

学校近隣の時間指定の進入禁止を徐行にしてほしい

(その他)

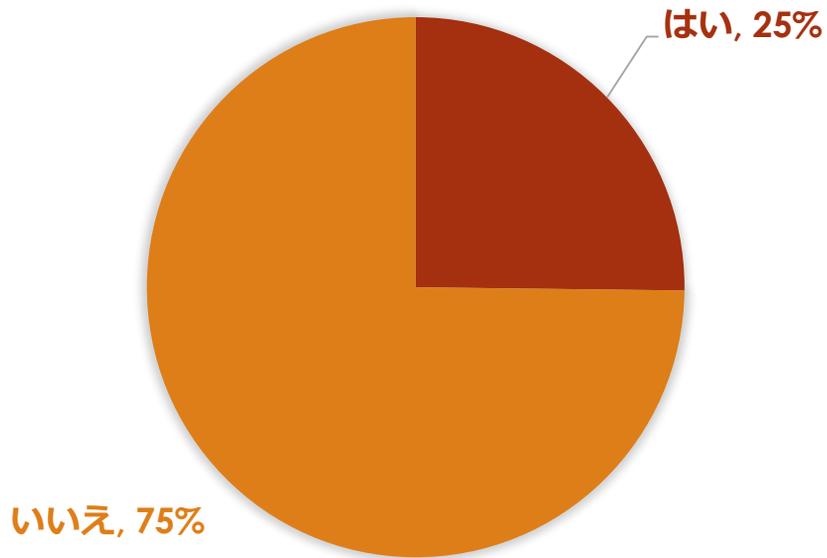
タクシーいない

ガソリンスタンドのにおい

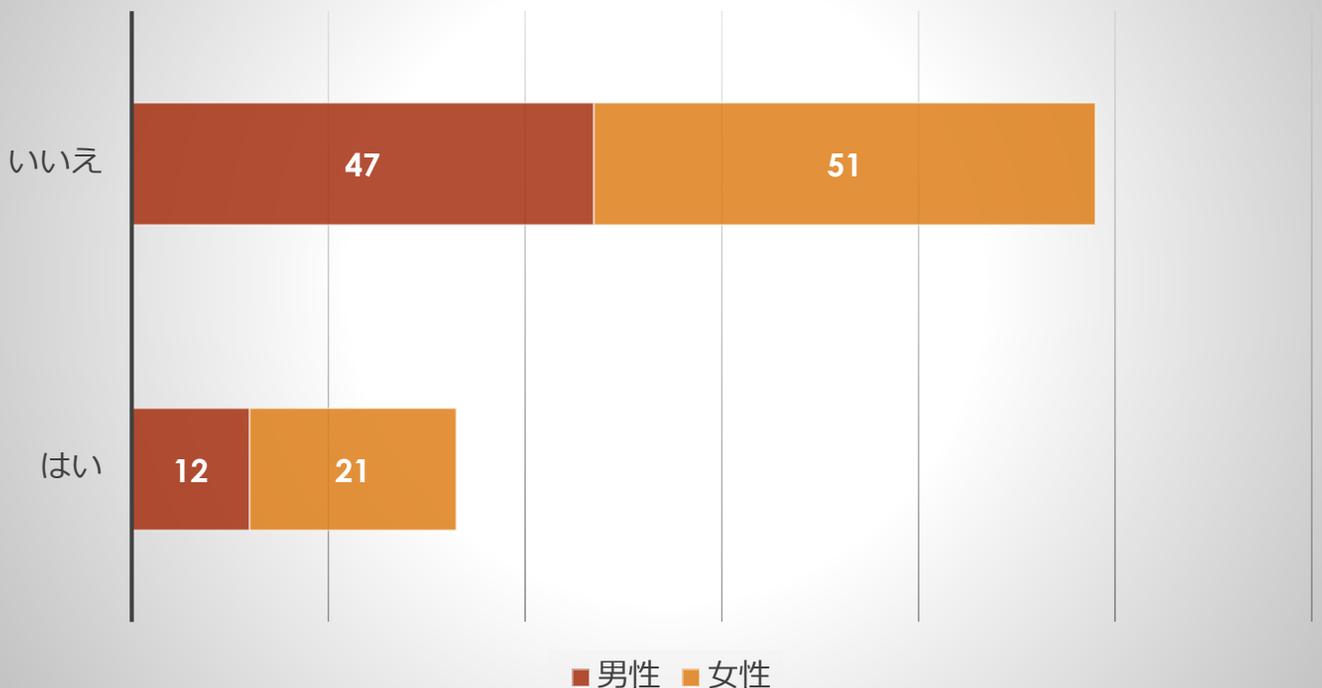
I Rを作らないで欲しい

問6.困っていることや問題に対して、その問題に積極的に取り組んでいますか？

(全体回答)



性別回答



問7はいと答えた方はどのように取り組んでいるのかをお聞かせください。

半年に一度の地域清掃に参加している。

生ごみは新聞に包む。カラスよけを倒れないようにする。ネットをめぐられないようにおもりを置く。ハッカ油をかける。

イベントの実施

融雪剤を撒いたり歩道の雪かきしている

おせっかい お兄さん・おばさんの家を設立して町内で頑張っています。

議会活動

雪かきボランティア等

ボランティア袋をいただいて分別して出しています。

お客様に喜んでいただけるようにいろいろと工夫しています。

活動に参加

子ども食堂を開いています。子どもたちと大人の間に関係が生まれにくいようにしています。何かしつつけたり、教えたり、諭したりせず、ひたすら聞き役に徹しあくまでも対等な関係を心がける事で、子どもたちが抱えている問題を吐露しやすい環境が生まれます。日常的に暴力を受けている・親から勉強しないと殺すと脅される・休日は朝昼ご飯なし...子どもたちはここで様々な話をしています。子ども食堂は24時間いつでも逃げこめる場所

児童館でランチ会計画

道の雪かきとか町内会とか

自分でできることを自ら実行。自分だけで解決できない場合は、公的機関に相談。

団体による活動

町内会が取り組んでいる

見回りをしている

秘密会議を行なっています

アパート大家さんと、こちらで何とか出来ないのかを伺いました。

町内行事への参加、役員もしています。

暖かい時期は外で長めに遊んで、近所の方にこちらから声かけする等して、大人同士顔が見える関係作りを心がけている。

札幌まで連れて行く

除雪機購入

町内会単位で拒否

管理人報告

投票活動

予防策やいざという時の行動を言い聞かせてる

信頼できるお店や食品を買う。仲間と価値観を共有したりする。

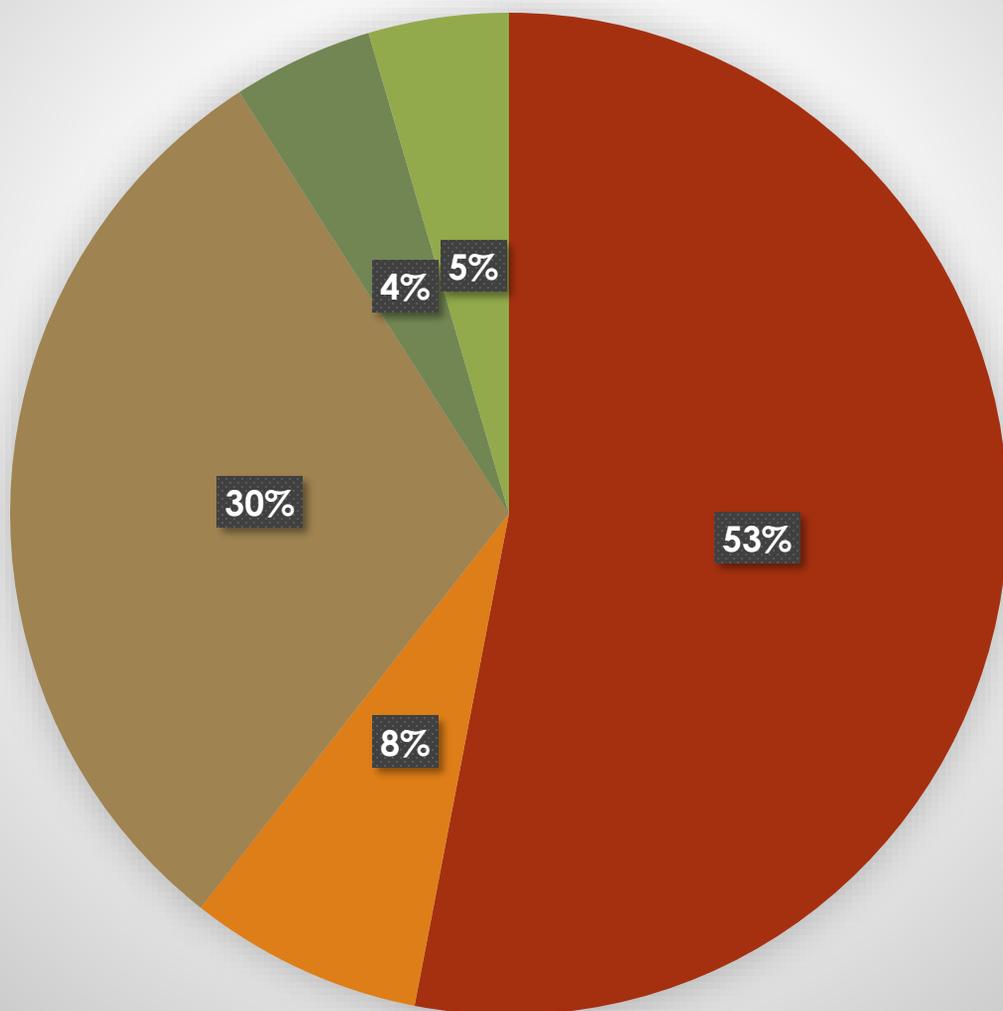
できるだけ安心安全な食材を選び作って食べる。

市民活動への参加。

問8. いいえ と答えた方は取り組めない理由をお聞かせください。

理由

- 取り組み方が分からない
- 自分に取り組んでも変わらない
- 行政・市政が行うものだから
- 他の人が行うものだから
- その他



問9.あなたが今考えている、地域の子どもたちのために、より良い苦小牧市となるためのご意見、ご提案があれば教えてください。

- ・母子手当を増やし、保育園などすぐには入れるようにしたほうがいい。
- ・町内会が活気に満ちた環境
- ・車暴走行為の取り締まりを強化してほしい
- ・給食の質の低下、教師の学力低下が感じられるので改善すべき
- ・子どもたちが遊べる場所を作るべき
- ・教育レベルの均衡化ができればよいと思う。
- ・薄暗い所に街灯がほしい。ごみステーションにカラス対策を工夫してほしい。
- ・公園のクオリティが地域によってバラつきがありすぎる。
- ・学童保育の拡充。待機児童の受け入れ。
- ・街灯がほしい
- ・公園を増やしてほしい。
- ・色々な経験や体験ができる場所は欲しい
- ・地域の活性化
- ・I R 反対
- ・医療費を高校まで無料に“
- ・子供を守る地域・社会にしてほしい
- ・デパートがほしい
- ・地域の活動(SNSを通し)を若者も近所と密接できる(昔のように人の子も我が子のように注意しあえる)環境。公園でボール遊びできる環境。私が子供の時の環境に戻ればと切に願う
- ・児童が相談できる場所を増やす
- ・子供を守る社会
- ・情報開示が必要良いことをしても一部の人しか知らない多くの人に見られるようにする
- ・町内会の活発化
- ・学力低下のため、楽しく学ぶ機会を作る。
- ・遊び場の確保
- ・町内会ぐるみでもう少し町内の見守り体制を強化していければと思う。
- ・地域の子どもたちが、将来も苦小牧に住みたいと思わせられるように郷土愛を育むことが大事。

問9.あなたが今考えている、地域の子どもたちのために、より良い苫小牧市となるためのご意見、ご提案があれば教えてください。

- ・大人たちが、苫小牧を好きになること、苫小牧市がこんなにいい街なんだよっていうことを伝えられることができれば、自然と子供たちも苫小牧を好きになると思う。

- ・天候に左右されない遊び場が多い方が良い。衛生面でも綺麗を維持するのがたくさんの方が人リピーターになると思う。

- ・学力を上げるために必死になっている感じがある。幼児、小学生くらいまではもう少し伸び伸びと生活させてあげたい。やるが多すぎて、親との触れ合い時間を作るのが難しい

- ・IRの件で、ご高齢の方々は「子供たちの未来のため！」と言いカジノのを批判していましたが、10代である私たちからすれば、IRが出来ることにより遊びの場も増え、苫小牧に観光に来る人も来るのではないかと話していました。そもそも鈴木知事が今回は見送ったため話は無くなりましたし、植苗の自然を壊さないように、と言うのはとても納得がいきませんでした。しかし「子供たちの未来のため」と言うのにパチンコ店ばかりどうして増えていくのでしょうか。「子供たちのため」と言っていた人たちの中にもパチンコ店に通ってる人はいるのではないのでしょうか。全年齢が入れるゲームセンターもパチンコ店に変わることが決まっていますし、市街の友人にも苫小牧を通過する際パチンコ店がとても目に入ると言われます。私は、苫小牧が「パチンコ店が多い」というイメージを持たれ、認識されているのが嫌です。駅にも苫小牧をアピールするデザインがされ、イルミネーション等も数年前から始まり、苫小牧を良くしようという気持ちを感じられます。それでも、あまりのパチンコ店の多さに苫小牧の良さが消されているように思います。カジノが出来ることには確かに不安はありましたが、市外からまたは道外からも訪れたいような場所が建設されるのかと思うと、IRには賛成でした。きっと、苫小牧市民には需要があるからパチンコ店が増えていくのでしょう。それは、仕方がないのかもしれませんが、しかし、せめて「子供たちの未来のため！」と言うのをやめて欲しいと思います。私たちは不安以上の期待がありました。パチンコ店だらけの時点で、子供には楽しみがなくギャンブルの多い町です。「子供たちの未来のため」には説得力が感じられませんし、実際私は疑問しか浮かびませんでした。「私たちがギャンブルに溺れないように」であったり「治安を守るため」であったり、大人の方々の方々に考えてくださったのかもかもしれません。しかし、この矛盾の中で「子供たちの未来のため」と言うのはやめて頂きたいと思います。

- ・子供が遊べる場所

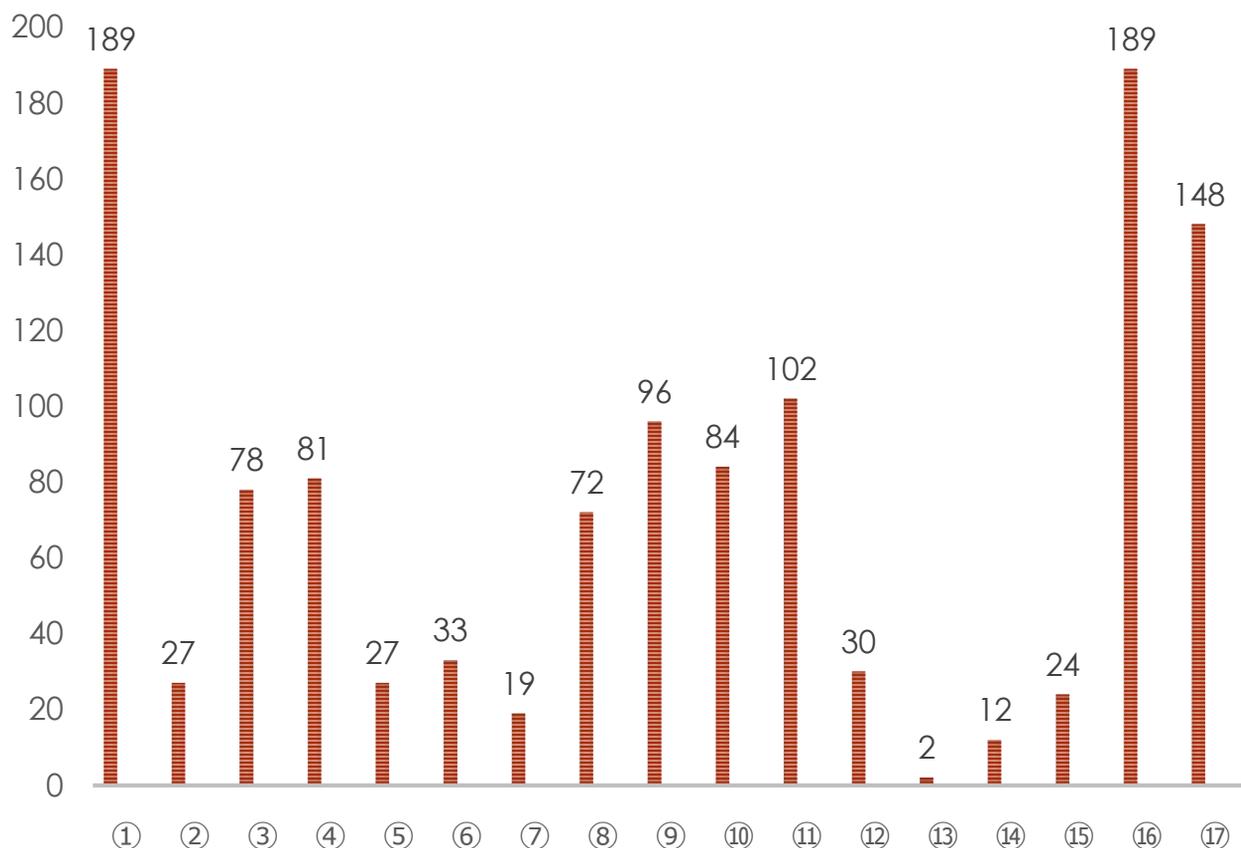
問9.あなたが今考えている、地域の子どもたちのために、より良い苦小牧市となるためのご意見、ご提案があれば教えてください。

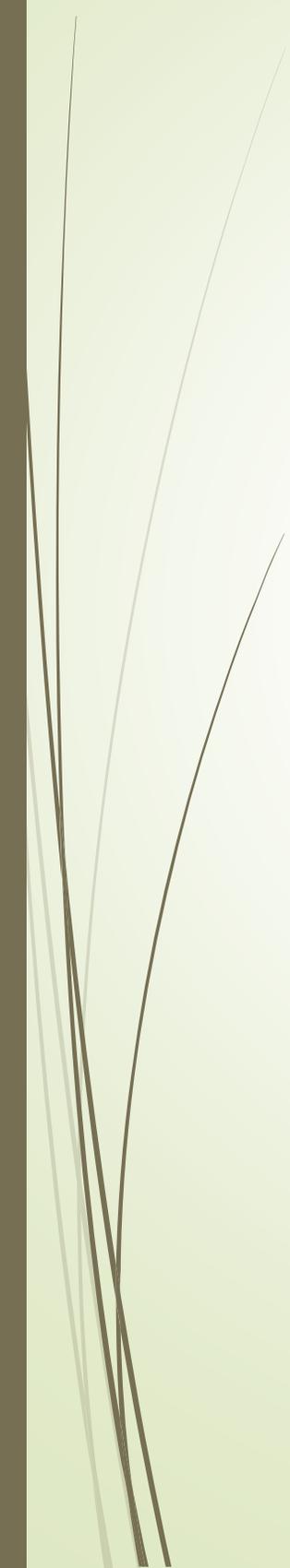
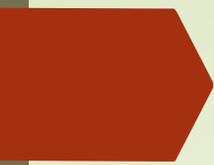
- ・公園の遊具が増えるといいと思う
- ・多額の税収の確保
- ・子供たちへ向けたイベントを増やしたり気軽に参加出来るコミュニティがあればいいと思います。母子家庭が多い街でもあるのもっと預けれる場所を増やして欲しい。そうじゃないと働けないお母さんも多いと思う。
- ・氷都アイスホッケーの街と言われ続けるように子どもたちにもっとアイスホッケーのやりやすい環境を整える必要があると思う。
- ・のびのびと生活出来る環境づくり。
- ・ルールを守れない子、暴れる子、問題がある子ほど何かに困窮しているにも関わらず大人がそれぞれの感覚でしつけてやる、教えてやる、諭してやる、といういわば上から目線。それこそが子どもの自尊心を傷つけ大人への不信感を生むと考えます。問題行動を起こす子への傾聴等、接し方を私たち大人が学ぶべきだと考えています。
- ・昔からの子供達が、近所の人との付き合い方ができるといいと思います。
- ・こどもが信頼できる大人に出会える場所をもっと増やしたい
- ・学校では体験できない、社会経験ができる場の提供
- ・防犯です。
- ・教育委員会に市民の意見を
- ・通学にかかるバス、電車の無料化
- ・港を活かした新しい観光スポットの構築
- ・自分が仕事するうえで、「打たれ強い子」というのが人財としてはありがたい。
- ・小さな子どもが集まりやすい遊具設備が整った公園、室内の遊び場があればいいと思う
- ・公園の遊具が増えるといいと思う
- ・子供たちが苦小牧で働きたいと思う街になってほしい
- ・子供たちの遊べる場所が増えて欲しい
- ・雨の日にも行けるミニ動物園、水族館敵の物
- ・子供たちが交流できる場所が欲しい
- ・小学生も医療費無料にして欲しい
- ・遊べる場所が欲しい（室内）
- ・カジノに頼らないまちづくりを選択すべき。
- ・もっと子どもにかかる費用、負担がへるようになるべく
- ・地域を知るための場づくり
- ・地域づくりに気軽に参加出来る仕組みがあればよい。

問10.地域の子どもたちのために、「10年後から20年後の苦小牧市」はどのようなまちであってほしいですか？優先順位を教えてください。

- ①雇用が安定した町
- ②農業や食が魅力的な町
- ③福祉の充実した町
- ④教育・スポーツ等の水準が高い町
- ⑤男女平等で女性が活躍できる町
- ⑥安全でおいしい水が提供される町
- ⑦地域資源を活用したエネルギーで暮らせる町
- ⑧活力ある産業の町
- ⑨多くの人を訪れる観光・交流の町
- ⑩障がい者や性的少数者にも優しくみんなが生きやすい町
- ⑪インフラがしっかりと整備され、暮らしやすい町
- ⑫モノを大切にし、環境負荷が少ない町
- ⑬温室効果ガス削減など、地球に優しい町
- ⑭水産資源が豊かな町
- ⑮自然環境に恵まれた町
- ⑯誰もが安心・安全に暮らせる町
- ⑰地域コミュニティ活動が活発な町

どのような町になってほしいか





V. 集計結果の分析

V. 集計結果の分析

今回、苫小牧市にお住まいの400人の方にアンケートをご協力頂き、市民の苫小牧市に対する様々なご意見や思いに接することができました。ここでは、まずアンケート全体を通じて3項目[まちの問題について・その問題への主体的な取り組み・現状の苫小牧市についての意見と将来の苫小牧市についての展望]について分析をしていきたいと思えます。

1.まちの問題について

市民が考えるまちの問題については様々な視点からの問題が回答されました。インフラ整備の問題、教育・育児の問題、マナーの問題、治安の問題、人口減少の問題、地域コミュニティの問題など多種多様なご意見を頂戴いたしました。

インフラ整備の問題では、ご年配の方からの意見が多く、年代別からの観点から見ても、ご高齢になるにつれて、まちへの不便さを感じるようになる傾向が見られました。また、その年代からの意見では、過去に比べて地域コミュニティが少なくなっているのご意見も見られました。地域コミュニティが少ないのご意見は他の年代にも見られ、プライバシーの問題などの観点からも今後進んでいくのではないかと推測されます。地域コミュニティは人と人をつなぐだけでなく、災害時や犯罪を未然に防ぐうえでも地域コミュニティは必要となります。また、教育・育児の問題については、30代、40代の女性からの意見が多く、それに伴い、子どもが遊べる場所が少ないという意見も見られました。

この質問で問題があるという方は35%に対して、問題はないという方は65%という結果になりました。この質問結果から65%の方は地域に問題が無く、住みやすいということが推測されます。

2.まちの問題についての取り組み

「困っていることや問題に対して、その問題に積極的に取り組んでいますか？」の質問に対して25%の方が取り組んでいる、75%の方が取り組んでいないという結果になりました。取り組んでいる方たちは、ボランティアや市民活動への参加など、主体的に動いている意見を頂戴いたしました。逆に動いていない原因として多かったのが、取り組み方が分からないという意見でした。まちの問題への意識はあるが、どう動いたら解決するのかが分からず、歯がゆい思いをしている方が多く見られる傾向にあります。

3.現状の苫小牧市についての意見と将来の苫小牧市についての展望

問10では地域の子どものために、「10年後から20年後の苫小牧市」はどのようなまちであってほしいですか?という意見をSDGsの内容に沿って回答していただきました。

「SDGsとは、持続可能な開発のための17のグローバル目標と169のターゲットからなる、国連の開発目標である。」

この難しそうなSDGsという全世界の目標を、簡単にして地域規模に落とし込みをしたときに、苫小牧市民はまずどこを目標にしたいのかを検証させていただくために、この質問を設置させていただきました。

結果から苫小牧市民の意見として、

- ・雇用が安定した町
- ・誰もが安心・安全に暮らせる町
- ・地域コミュニティ活動が活発な町

の意見が多く集まり、苫小牧に望む市民の意見をSDGsの観点から落とし込むことができました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



4.最後に

今回、400枚のアンケートを集計し、分析させて頂き、市民の方が様々なことに関心をよせておられることが分かりました。その結果、苫小牧市の様々な解決すべき課題も見えてきました。こうした様々な課題を解決するためにはどうしたら良いでしょうか。

苫小牧市を問題に取り組めない方の多くが、「方法がわからないから」と答えられていることから、協力したい気持ちはあるが、どうやって協力していけば良いのか分からない、という市民が多くおられることがうかがわれます。このような苫小牧市を良くしたいが、どうしたら協力できるか分からない、という市民の方に苫小牧市をより良くするために協力していかなければならないと考えます。

市民の方一人ひとりが自分のこととしてまちづくりに参加することで、様々な課題が解決され、より良い苫小牧が創出されていくのだと思います。

おわりに

この度アンケートの実施に際し、多くの皆様にご協力を頂きましたこと心より感謝を申し上げます。アンケートの配布・回収をさせていただく中では、快くご協力を頂いた皆様やまたお忙しい中丁寧に回答を頂く皆様に応援を頂いたように感じました。街頭アンケートでは、寒い中ご回答頂いた皆様に励まされながら行うことが出来ました。また集計作業では、皆様の率直な考えや時間の掛かる自由記入の設問にも多くの皆様にご協力を頂いており、ご回答を頂いた皆様が自分の住むまち「苫小牧市」に対する様々な意見を持っておられることを感じました。現在、苫小牧市では多くの課題を抱えております。しかしながら、市民の皆様がこのまちがより良くなることを期待し、また多くの皆様が自らもその手助けをする気持ちを持っていることを示していただきました。

一般社団法人苫小牧青年会議所は、これからも「明るい豊かな社会の実現」のために考え、このまちの住民の皆様と一緒に活動をしてまいります。



Junior Chamber International Japan
一般社団法人 苫小牧青年会議所

苫小牧の将来に対する市民アンケート

結果報告書

作成 一般社団法人 苫小牧青年会議所

理事長 阿部 和法

作成日 2020年03月05日